

第1回北方領土遺産調査検討会議 議事録要旨

1 日時 平成27年8月5日(水) 13時00分～14時30分

2 場所 北方四島交流センター 1階 視聴覚室

3 出席者

(1) 委員

堀 達也 ((公社)北方領土復帰期成同盟 会長)

脇 紀美夫 ((公社)千島歯舞諸島居住者連盟 理事長)

久保 浩昭 (旧逓信省千島回線陸揚げ庫保存会)

本間 浩昭 (特定非営利活動法人北の海の動物センター)

石渡 一人 (別海町教育委員会別海町郷土資料館 主幹)

村田 一貴 (中標津町教育委員会生涯学習課 学芸員)

小野 哲也 (標津町教育委員会管理課文化財保護担当係 学芸員)

天方 博章 (羅臼町教育委員会羅臼町郷土資料館 学芸員)

右代 啓視 (北海道博物館総務部 学芸主幹)

(2) 事務局

北海道根室振興局長 田中 宏之

副局長 谷内 紀夫

北方領土対策課主幹 讃岐 雅嗣

係長 内城 孝司

主任 蘇田 友紀

主事 玉理 和也

4 実施内容

(1) 委員及び事務局の自己紹介

各委員及び事務局が自己紹介。

(2) 会長・副会長の選出

- ・事務局から委員に対し、会長、副会長の推薦の有無を確認…推薦なし。
- ・本間委員から事務局案について質問…事務局案を提示(会長:堀委員、副会長:脇委員)し、委員から異議がなかったため、事務局案どおりで決定。

(3) 事業の実施計画

① 事業の概要及び実施内容について

事務局から事業の概要、実際に調査対象とする北方領土遺産候補について説明。

【堀会長】

- ・無形遺産の調査は、継承されている方、知っている方を探すことが必要。
- ・検討会議が行われていることを大いに発信することも必要。これについては事務局にお願いする。
- ・情報を発信した際に、受けるための窓口も必要。

【事務局】

- ・本事業を最大の目的は、事業に取り組むことによって、元島民の方々などから情報を寄せていただくこと。
- ・記憶を触発するような事業を展開していくことが重要。
- ・積極的に情報発信、イベント的なものを行っていきたい。

【堀会長】

- ・年に何回か、ワークショップ、講演会、報告会などを数多く実施することでPRができると思うので、具体的に検討いただければと思う。
- ・今までの事務局の説明に対し、各委員、意見はありませんか。本間委員はどうですか。

【本間委員】

- ・無形の方が喫緊の課題と考える。
- ・例えば20番の馬頭観音の例、島から持ち出す際に乗せてあった米俵をいくつも海に捨てて馬頭観音を救ったという逸話があるようだが、話しを聞きに行こうとしたら、既に亡くなられていて悔しい思いをした。
- ・こういうことができるだけ無いように、この手のものから発掘できるように。
- ・若い世代はインターネットからなどでも情報がとれるが、インターネットを使えない世代から、いかに情報を引き出すかが重要。
- ・2世、3世から「おじいちゃんこんな話しはない？」などと発掘をしてもらえれば、裾野が広がるので、教育現場などへも打診した方がいい。

【堀会長】

- ・私どもの北方同盟もそうですが、協副会長の千島連盟からも内部的に事業について広くお伝えをいただければと思う。
- ・各委員には、最初の会議でもあるので、事務局の説明を参考にしながら、次回会議までにもご意見をいただければと思う。

【本間委員】

- ・このリストに挙げられたもので、当時の記憶を持つ人がいるものから優先して着手すべき。例えば1番は、久保委員のお父さんがケーブルの一番そばに住んでいた生き証人。そういった人から始めると、「この人まだ生きているよ」と繋がっていく。
- ・まだ生きている人の手がかりがあるところから手を付けるべき。

【堀会長】

- ・それも是非、事務局の方で。
- ・それと、検討会議の結果をどうまとめていくか考えていかないと。資料や情報が集まったけど、次にどう繋いでいくか、具体的なことも検討していただきたい。

【事務局】

- ・わかりました。
- ・1市4町の学芸員の皆様には、特にお願いですが、各市町の調査対象については、遺産を主体的な意識を持って、情報提供、アドバイスをいただきたい。

【堀会長】

- ・お願いしたいのだけれど、我々が色々PRするのはもちろんだけれど、事業のPRのための一枚モノを作ってもらいたい。

②オープニングイベントについて

事務局から、オープニングイベント案（資料の展示、映画の上映）を説明。委員から異議がなかったため、事務局案どおりオープニングイベントを実施することとした。

③全体を通じた各委員の意見等

【久保委員】

- ・昨年、国後島に行った際、日本人がいた頃の石碑を見つけた。
- ・そのようなものも位置づけて加えていただけるといい。その件に関しては資料を持ってくる。

【本間委員】

- ・8月に展示する公文書（千島及離島ソ連軍進駐状況綴）については、（開示）請求しようとして、旧根室支庁に、十数年前、こんな資料はないかと聞いて、無いとの回答を得ていた。この資料が平成4年に文書館に行っていたと聞いて驚いている。
- ・この中の一部が抜粋された書物があり、そこにはかなり当時の動転している状況が書かれており、島の方から、攻めてきたけどどうすればいいかとの問いに、こちらは梨の礫だったり、次の命を待てというような、当時のドタバタ劇というのか本当に大変な状況が書かれており、ゆっくり読んでみたいなと思っています。
- ・ただ、その中に名前とかがそのまま出せないところがあるのではないかと気になり

ました。

- ・(生命の冠のような)動画があるというのは凄いインパクトがあるので、ジョバンニの島のように、この存在をPRし、何らかの形で領土返還運動に活用できるといい。

【石渡委員】

- ・(今回の資料に掲載されている物のほかにも)北方領土に関わる出版物とか研究報告書がたくさんある。そういった北方領土に関わる資料のリストが作れるといい。フィルム、古文書資料もあるし、考古資料とかそういったもの全て含まれる一覧ができるといい。

【村田委員】

- ・リスト16番の光のメッセージに関して、地元(中標津町)で郷土の研究をされている(しまざき?)先生の資料にライトの写真があり、電子データとして持参したので活用いただきたい。洋上交流の写真もデータを持参したので活用いただきたい。

【小野委員】

- ・今回のリストに上がっているものは日本の領土になってからのものと領土問題に絡んでからの項目が多いが、日本の領土となる以前、また、こういった課程で日本の領土に組み込まれたか、それまでの課程を含めて伝えていく上で、アイヌ文化の遺跡といったものも遺産に組み込んでいった方がいい。

【天方委員】

- ・文化庁で日本遺産という制度を今年度作り、その中では有形無形のものどと景観も含まれており、(北方領土遺産に関して)物語として語っていく場合には、羅臼から見える国後島の景観も、今後行われる遺産ツアーに含めてはどうか。

【右代委員】

- ・無形遺産について、元島民を含め、座学的なことを通じて進めてはどうか。
- ・元島民の隠れた話題の収集が喫緊の課題。
- ・島に現存する建物等のモニュメントをどのように保管、保存していくのかしっかり考えていかなければならない。
- ・建物はあがるが図面はない、或いはその逆、こういうものの情報をできるだけ集めることが必要。
- ・公文書(進駐綴)の開示は重要、しかし、侵略以前の北千島に日本を守った戦争の跡もかなり残っている。遺産事業でできるものではないが、北千島に旧日本軍の戦車や飛行機の残骸が残っている。そういうものを収集していくのが国を含めて北海道の仕事。
- ・サハリンの郷土博物館では、旧日本軍の戦車が展示してあるが、日本にはない。戦争の傷跡なりを検証するための資料収集も重要。
- ・北方領土遺産調査を3年実施すれば様々なデータが集まってくる。3年で終わりというわけではなく、それをどのように活用し、展開していくのかもこの会議が真剣に考えていかなければならない。
- ・有形遺産について、現地において、保存活動、活用に取り組まれているが、それを説明できるような看板なりを設置して、保存活動を今後どうしていくのかを含めて行っていければいい。
- ・特に旧開拓使別海工場が現存するとのこと、今回の事業に限らず、建造物の保存の観点から重要になっていく。

【脇副会長】

- ・元島民の話を伺うにしても、担当者が聞いても一対一では話が盛り上がらない。元島民何人かに集まってもらって、ざっくばらんに話してもらおう中で本音の部分が聞けると思う。
- ・明日(8/6)、千島連盟の三役会議と企画委員会があるので、千島連盟の広報の

中で取り上げられるよう取りはからう。

- 無形の遺産という急ぐ状況もあるので、千島連盟の元島民の高齢者の方をリストアップしながらというのも一つの方法かと考えているので、私の方でも考えてみたい。

【堀会長】

- 皆さんからご意見を伺いました。事務局で充分検討いただいて、次の会議にでもどうするかについてご報告いただければと思う。
- 今、脇副会長からお話のあった、急ぐという話しですが、語り部の事業もあり、そういうものを含めて連絡を取り合ってやればいい。私の方から同盟の方に話していきたい。